

地域と考える防災講座⑦

「東日本大震災の教訓から考える、 地域と個人の防災力」

本講座は、南海トラフ巨大地震に十分備えられるよう、地域と個人の防災意識の向上を目的としています。

東日本大震災の発生から14年が経過し、「あの日」の記憶が薄れつつあります。特に当時を知らない学生世代が増えている現状を踏まえ、今一度その現実から備えについて考えます。東日本大震災の貴重な経験を、徳島の地域性に即した実践的な防災力へと繋げます。

日時：令和7年8月6日(水) 9:10～10:40

場所：徳島文理大学 アカンサスホール(2号館2階)

講演1 支援者が語る「災害支援」と「地域防災」

川崎 克寛 氏(一般社団法人Rhizome 代表・理事、内閣府 地域活性化伝道師)

東日本大震災で行った具体的な支援活動をご紹介します。地域防災における重要な視点、備えを共有します。

講演2 被災者が語る「あの日」と「その後の暮らし」

宮本 萌 氏(東日本大震災語り部)

被災した時の具体的なエピソードを交え、備えの重要性や心のケア、暮らしなどに焦点を当てます。

ワークショップ 10:50-12:20

とくしま産学官プラットフォームの学生および高校生を対象に、地域と個人の防災力を高めるワークショップを行います。

お申し込みはこちらから
徳島文理大学 地域連携センター
電話:088-602-8261

